

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年4月1日

大分県知事

殿



〒871-0432

大分県中津市耶馬溪町大字金吉5196番地31

有限会社 おおいた黒豚牧場

代表取締役 高崎 文広

TEL・FAX 0979-56-3006

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 おおいた黒豚牧場
事業場の所在地	中津市耶馬溪町大字金吉5196番地31
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 1,600頭
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>糞 → コスト投 → 搬入 → 熟成 → 販売</p> <p>敷料土 → 再利用 不可 → コスト投</p> <p>尿 → 口過 → 汚泥 → バイogas → 放流</p> <p>動物の死体 → 化成場</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役

・廃棄物処理方針の決定

・ " に関する各種事項の決定承認

・ " 計画の作成

・ 行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	家畜死体
	排出量	2,800 t	2 t
	(これまでに実施した取組) すか粉床豚舎の導入。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	家畜死体
	排出量	2,800 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 糞、敷料、尿に分別、更に、尿は、口過水と汚泥に分別。取組は前項の処理工程を参照。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	400 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化、敷料の再生。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	400 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,400 t	t
	(これまでに実施した取組) コンポストで水分処理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,400 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 家畜死体は、化製場に委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
同上			
※事務処理欄			

